

社協だより

2016.12.22

81号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

ふだんのくらしの幸せを 取り戻すため いざ結集!!



もくじ

- ◆台風10号被災地支援活動報告 2～3P
- ◆第68回岩手県社会福祉大会 4～5P
- ◆民生委員・児童委員改選 5P
- ◆まちの福祉 6～7P
- ◆平成28年度赤い羽根
共同募金運動報告 8P
- ◆平成28年度歳末助け合い
チャリティーショー 8P
- ◆西山保育園だよりVOL.18 9P
- ◆お知らせ 10P



表紙写真：台風10号により被害を受けた宮古市新里の様子です。
全国各地からたくさんの
“力”が結集しました。

《報告》宮古市新里・岩泉町小川 台風10号に伴う支援活動



(写真：宮古市新里)

過去の豪雨水害の経験を 支援社協として活かす!!

平成28年8月30日(火)台風10号が岩手県に上陸し、死者20名、行方不明者3名、住家においては、4,297世帯の家屋が全壊から床下浸水の甚大なる被害を受けました。

雲石町社協では、平成25年8月の豪雨水害時に、災害ボランティアセンター(以下、災害VC)を立ち上げる際、東日本大震災での経験がある、宮古市社協から運営の手法を学び長期にわたり、職員の派遣を頂いたことから、翌日の8月31日(水)に岩手県災害VCが開設されたことに伴い、雲石町社協では、先遣隊として、被害の大きかった宮古市へ県社協の職員と共に調査に向かいました。

調査に向かったこの日は、台風一過で天候には恵まれたものの、盛岡市から宮古市までをつなぐ国道106号の崩落箇所が至る所にあり、通行することすらできず、釜石市経由で宮古市まで北上し、片道4時間以

上の道のりとなりました。また、現地宮古市に着くと、泥まみれの住宅や車ばかりで、道路は乾燥した泥が舞っており、とても車の窓を開けられる状態ではありませんでした。

その後、宮古市と宮古市新里地区をつなぐ国道106号の崩落箇所の開通の見通しが立たず、宮古市側からの支援が厳しい状態であるということから、県央ブロック社協と宮古市社協が調整をはかり、過去の豪雨災害での経験を活かすべく、雲石町社協職員がいち早く、宮古市災害VC新里サテライトの開設支援に向向きました。

しかしながら、発災から三日後、道路も至る所で崩落、電気・水道の復旧の見通しも立たないうちからの新里サテライトの支援となり、また、ゼロベースからのスタートという現実の厳しさを目の当たりにしました。



土砂で埋まった民家



道なき道を歩いて調査



崩落した道路



雲石町社会福祉協議会
村上 愛

今回、宮古市新里地区での支援活動が私の災害ボランティアセンターに携わる初めての経験となりました。先輩方や雲石社協の事業である災害ボランティア講習会の講師陣から災害支援について話は聞いていましたが、実際、どのように活動したらいいのか不安を抱きました。新里地区に派遣となった初日、土砂に埋もれた家屋や崩落した橋等の被害状況を目の当たりにし、不安な気持ちが募る一方でした。



TEAM・H330
代表 畠山 操氏

私は、台風10号の直後は足の怪我で、泥出しなどのボランティア作業に行ける状態ではありませんでした。そこで「できる人ができる時にできる事をやる」という雲石豪雨の時に学んだことを軽トラ車で実践することにしました。それは軽トラ市の会場内で義援金を集めることでした。

おかげさまで9月の軽トラ市で112,980円の義援金を届けることができました。足の状態が良くなった9月末には、宮

実際にニーズ調査で被害状況の確認に向かいますが、被災者の方は日々の片づけで心身ともに消耗、必要な支援も日々変わっていききました。そんな中でも「皆同じように大変なんだから、自分達で頑張らなくちゃ」と話されており、私がこんな気持ちではないと気づかされました。今回の支援では、「被災された方の立場」に立つこと、どんな支援が必要か見極めることの大切さを学ぶことができました。今後は、災害ボランティアで学んだことを活かし、住民の方の気持ちに寄り添って支援することができる職員を目指していききたいと思います。

宮古市新里地区。10月に入ってから岩泉町小川地区に2度、合計3回の災害ボランティア活動に参加しました。私は災害ボランティアに参加したことをFacebookなどのSNSを利用して発信しています。それは、この活動の様子を見て、自分も参加してみよう、と思ってくれる人が一人でもいればそれだけ被災地の力になると思うからです。

想う気持ちがあれば、どういう形であれ支援はできます。募金であったり、実際に泥出しに行くことであったり、ボランティアの皆さんに差し入れることだっ立派な支援です。口には出しても何もしない人は、それは想いが無い人なのだと思います。今回は「想う気持ち」の大切さを学びました。



たくさんの協力に感謝!!

新里社協職員の中にも、家屋が被災した方もいる中で、通常業務と慣れない災害VC業務との狭間で大変苦慮されておりましたが、日頃からの地域住民とのつながりと、ボランティアを受け入れる体制(受援力)が整備されており、9月5日・9月28日の18日間(5日間休所)の活動日数で733名のボランティアを受け入れ、地域住民からの91件の活動依頼を終えることができました。新里サテライトでの支援を終え、10月3日から、被害が甚大だった岩泉町(派遣先：小川サテライト)へ10月25日まで職員派遣を行いました。また、雲石町社協では、新里サテライトと小川サテライトへのボランティアバスを運行し、町内外から多くのボランティアさんの協力を得て、被災地への復興に努めました。

活動時間が限られている中、参加されたボランティアさんは自分たちが出来る事を「被災された方の立場」になって、丁寧に活動されておりました。

ある活動先の家主さんご夫婦からは、「二日でこんなに片付くなんて思っていませんでした。ボランティアさんの力がこんなに素晴らしいと思います。本当にありがとうございました。」と目頭を熱くされ感謝の言葉を頂きました。

雲石町社協では、いつ起こるか分からない災害に備えて、災害VCの設置訓練や防災講座を始め、地域コミュニティでの防災出前講座等を行い更なる住民の災害へ対する意識向上のために取り組んでまいります。

【職員派遣】(実人員4名)

職員派遣先	派遣日数	派遣人数
宮古市新里サテライト	24日間	46名
岩泉町小川サテライト	16日間	16名

【ボランティアバス運行】

活動日	活動先	参加人数
9月10日(土)	宮古市新里サテライト	15名
9月11日(日)	〃	25名
9月22日(木)	〃	19名
9月25日(日)	〃	15名
10月9日(日)	岩泉町小川サテライト	12名
10月14日(金)	〃	7名
10月19日(水)	〃	5名
10月30日(日)	〃	11名

第69回岩手県社会福祉大会

（共に生き、共に支える福祉社会の実現を目指して）

平成28年8月26日（金）、第69回岩手県社会福祉大会が盛岡市民文化ホール（マリオス）大ホールで行われました。

当町からは、「岩手県知事表彰」4名、「岩手県社会福祉大会長表彰」2名、「岩手県社会福祉大会長褒賞」4名の方々が受賞されました。

式典後、テレビドラマ「ナポレオンの村」の主人公である公務員のモデルとなった高野誠鮮（たかのじょうせん）氏より、「人を動かし、地域を変える」と題して、記念講演が行われました。「成功するまで失敗し続けなければならない。やめなければ成功する。またどうすればできるか、それだけを考えればいい。できない人はやらないからできないだけなんです。可能性の無視は最大の悪策。」と締めくくりました。

講演後、受賞者並びに社会福祉関係者が、誰もが安心して暮らすことのできる福祉社会の実現に向けて、更なる研鑽を誓い合い閉会しました。

岩手県知事表彰

（社会福祉団体の役員）1名

*坂下 悦雄氏



坂下氏は町内に福祉作業所の必要性をうったえ、知的障害者の親を動かし、福祉作業所を開設。平成9年から福祉作業所の事務局長として、通所生の指導、作業所の運営に尽力されました。平成16年から現在に至るまで、社会福祉協議会の理事に就任し、現在は、副会長として活躍され、町の福祉の増進に貢献しています。その功績により、岩手県知事より表彰を受賞しました。

（民生委員・児童委員）3名

*阿部 一雄氏



*高畑 征司氏



*山本 勝氏



21年という長きにわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進による功績により、表彰を受賞しました。

（ボランティア活動功労者）1名

*土樋 耕子氏



多年にわたり、子育て支援を通じて福祉の増進に努めた功績により受賞しました。

岩手県社会福祉大会長褒賞

（在宅介護者）4名

多年にわたり、献身的に家族の介護を在宅で行ってきた労に対し、褒賞を受賞しました。

*下川原 佐智子氏



*高橋 安子氏



*細川 幸子氏



*中村 幸子氏



16年間の長きにわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進による功績により、表彰を受賞しました。

知報

皆さんの地域にお邪魔します♪

出前講座

当社会福祉協議会では、地域コミュニティやふれあいサロン等で研修会を開催する際、プログラムの要望に沿った出前講座を、様々な関係機関と連絡を図り、開催しております。

町内に設置されている27ヶ所のサロンでは、各サロンの要望に応じた健康体操や簡単にできるゲーム・レクリエーション活動を行っております。参加者の皆さんからは、「普段の活動内容に幅が広がり、わくわくしながら活動を楽しむことができた。普段の活動でも続けたい。」等、嬉しい声をいただいております。今年度のお互い様情報交換会にて、サロンの紹介やレクリエーションを行ったところ、新たに2つの行政区でサロンが開設されました。

また、地域コミュニティからも災害についての講演をする機会をいただ



「家族で災害時どうするか決めておかないといけないな」～防災・減災について勉強中～



「普段使っているものも、災害時便利グッズに使えるんだね」～防災グッズについて紹介中～



「どこどこがくつつくんだべ？」～老人クラブでの出前講座の様子～

き、普段からの防災・減災に対する心構えや日頃から備えておくという良い防災グッズ・非常食等について講演をさせていただきますました。参加された皆さんからは、「防災グッズの使い方や用意しておくものがわかって良かった。普段からの心構えや訓練が大事なんだな。」と好評をいただいております。

この他にも、災害時の便利グッズの紹介や簡単に作れる土のう作りの方法・積み方、子どもと一緒に防災・減災について学べるゲーム等、地域コミュニティで取り組める内容もございます。

今後もこの事業を継続してまいりますので、こんな話が聞きたい、こんな講師を探している等ございましたら、ご協力させていただきますのでお気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

報

雫石町福祉の職場合同就職説明会

今年は6月11日（土）と11月5日（土）に福祉の職場就職説明会を開催しました。町内の9事業所が同に町総合福祉センターへ集合し、町内で就職したい方や福祉に興味のある方達に対して、職場の説明を行いました。

当日は、来年度卒業予定の学生、町内外からの転職希望の方などが来所され、面接等では聞けないような待遇のこと、勤務時間のことなどを、個別に職場の説明を聞いていました。

報

学んで備える!! 介護教室を開催しました

家族や自分がいつまでも健康であり続けたいという気持ちの裏側に介護が必要になった時の不安があるのは皆さん一緒のようです。

そこで、健康や介護に関する知識を深め、健康な生活を長く続けるために、また、実際介護に携わった時の介護者の負担軽減を目的に5月28日から全6回コースで介護教室を開催し、延べ125名の方が参加されました。



「へえ。すごいね」と初めて見る介護グッズに興味津々な参加者のみなさん

な心と体を維持する軽体操、緊急時の対処方法など情報満載の講義に皆さん大満足の様子でした。

また、様々な介護グッズを目にした皆さんからは「こんなものもあるんだ。便利だね」と驚きの声が上がっていました。

雪が降る季節となりました。西山キッズ発表会という大きな行事を一つ終えた子どもたちの表情は、安堵した気持ちとともに、凜々しさを増したように感じます。一人ひとりが、自信を持って取り組んだり、お友だちと協力し合う思いやりの心が育っています。

また、これからクリスマスやお正月などご家族で楽しく過ごす行事が待っていますね。混み合う場所にお出かけの際は、マスクを着用し、食事や帰宅時には手洗い・うがいの励行に努め健康で楽しい年末年始をお過ごしください。



書道教室



いい匂いがしてきたけど、まだかな？



寒さに負けずに、遊んでいるよ！



落ち葉を集めて、お手伝い中！



園内で「煙体験」をしました。
煙で前が見えなくて、ドキドキしたね！



発表会では、泣かずにみんなの前に立って発表できたよ！

平成28年度赤い羽根共同募金運動 報告

～自分の町を良くするしくみ～

総額 **2,445,933円**

(平成28年11月30日現在)

74 行政区 ・ 4,657 世帯

十月一日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開しております。今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。また、町内の企業等からも、たくさん募金を頂戴しております。お寄せいただいた赤い羽根共同募金は全額、岩手県共同募金会へ送金され、より住み良い町づくりに役立つように、社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。たくさんのご協力本当にありがとうございます。また、現在皆様にご協力をお願いしております、歳末助け合い募金運動の結果につきましては、次号の杜協だより内にてご報告いたします。皆様のあたたかい気持ちに深く感謝申し上げます。

平成28年度赤い羽根共同募金 法人等職域募金実績

①法人募金	(単位:円)
法人名	金額
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
雫石プリンスホテル 様	5,000円
新岩手農業協同組合雫石支所 様	5,000円
仙建工業(株) 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
松ぼっくり 様	5,000円
ホテル加賀助 様	3,000円
長栄館 様	5,000円
雫石タクシー(株) 様	3,000円
合 計	81,000円

②職域募金	金額
法人名	
雫石町役場職員一同 様	38,507円
合 計	38,507円

①法人募金計	81,000円
②職域募金計	38,507円
合 計	119,507円



雫石町吹奏楽の皆さんによる
優美な演奏



町職員互助会の皆さんからの
少し早い愛のプレゼント♪



会場の皆さんが笑顔になった
新企画のカラオケショータイム♪

12月4日(日)雫石町中央公民館にて、『平成28年度歳末助け合いチャリティーショー』が開催され、寒い中にも関わらず、たくさんの方にご来場いただきました。今回のチャリティーショーでは、今年結成された「雫石町吹奏楽」の皆さんによるバラエティー豊かな演奏がオープニングを飾りました。また、御明神保育所の園児によるかわいらしいお遊戯や今回初出場となった混声合唱団「たんたん、ず」の皆さんによる合唱、町内福祉関係団体による工夫をこらした演芸が披露されました。特別出演では、「中川愛子社中」の笑いあり涙ありの楽しい歌謡ショーが行われ、会場は一段と華やかな雰囲気になりました。

今年の新たな試みとして中川愛子さんを司会に、「カラオケショータイム」を開催し、実行委員会メンバーが趣向をこらした歌を披露しました。どの演芸も観客に笑顔と元気を与え、終始会場には笑い声が響いておりました。他にも、ロビーでは、町内の企業・町民の皆さんから提供いただいた品物によるチャリティーバザーや会場内で行われた募金活動では、中川愛子社中の皆様の協力を頂き、多くの募金が寄せられました。今回皆様にご購入いただいたチケットやバザーの収入、会場募金は、町共同募金委員会に歳末助け合い運動の激励金として贈呈されました。

みんなでささえあう あったかい地域づくり
～平成28年度歳末助け合いチャリティーショー開催～

このひとに聞く！

ふ だんの く らしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



やまもと ちかこ
山本 千佳子さん (35歳・林)

プロフィール

北上市出身。4兄弟の3番目として生まれる。21歳で結婚して雫石町へ移住。子育て支援ボランティアの他に、「集いの広場」でもボランティアとして活動中。趣味は読書で、休日は子ども達と図書館へいくのが楽しみ。

●子育てボランティアを始め
たきっかけは？

雫石町には結婚して住むことになったのですが、最初はあまり地域になじめず、なかなか人に頼ることもできずに本当に大変でした。そんな時、子育てボランティアを知り、子どもを預けることができ、私自身本当に助かりました。仕事も休めない、保育園にも頼めない、誰にも頼ることができないとなった場合にボランティアさんがいいると親御さんはすごく助かると思います。私が助けていただいたように、自分の空いた時間で少しでも皆さんの役に立てられればと思います、子育て

ボランティアを始めました。
●雫石について思うことは？

雫石は子育てにすごく優しい町だと感じました。医療費が無料なのはもちろん、「集いの広場」や「ままのほっとタイム」といった親子で参加できる場があり、お母さんたちの選択肢が限定されず、子育ての幅がすごく広がっていると思います。また、雫石は親御さんたちが子育てに一生懸命だと感じました。学校行事でも、ボランティア時のお弁当を見ても、家庭、地域で子どもを大事にしていると感じます。それは、最近始まったことではなく、お爺ちゃんお婆ちゃん、そのまた前から子どもを大事にする想いがあるからこそ出てきていると思います。今後も、今までのように子どもを大事にする思いが変わらない雫石であってほしいです。

平成 28 年 台風 10号災害義援金のお知らせ

今回の台風10号により、被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。雫石町社会福祉協議会では平成28年9月5日より義援金の受付を行っております。お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて、または被災地へ直接送金させていただきます。

岩手県台風10号募金内訳	募金額
似顔絵レンジャーズと元気玉ーズ 様	175,363円
しずくいし軽トラック市実行委員会 様	112,980円
希望郷岩手国体アーチェリー会場設置募金	32,346円
根子憲一と山本卓哉と仲間たち 様	23,000円
小岩井乳業大清水寮 松澤 直哉 様	17,300円
シェアトレード雫石 様	5,889円
写真倶楽部 様	627円
総 額	367,505円

寄付金

やさしいまごころを
ありがとうございます
(平成28年7月から11月までの間に、寄せられた寄付についてお知らせいたします。)

○第16回よしやれの里雫石G・G
交流大会実行委員会 様
20,000円
(町の福祉のために)

○匿名希望

300円切手 8枚
500円切手 3枚

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。平成28年は、熊本地震や台風10号等、災害が多く発生した年となりました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。毎年大きな災害が発生しております。お互いさま情報交換会等でもお話があるように、普段から防災意識を高めておくこと、人との繋がりが大切だということを学びました。
当社会福祉協議会も多くの繋がりを大切にし、皆様に愛される社協を目指して頑張つていきたいと思っています。
来年もよろしくお願い致します。
(村)

○雫石町社協だより

●平成28年(2016年)12月22日

第81号

発行／雫石町社会福祉協議会

〒020-0541 岩手県岩手郡雫石町千刈田82番地2

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140
e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp
ホームページ: http://www.shisha.or.jp